

# GW集中ゼミ 相続税法

## 「事例理論解答作成解説」

学習テーマ：  
事例問題対策

全1回  
各160分

GW集中ゼミでは、近年の出題傾向を踏まえ、事例問題に対する解答作成の方法を習得するため、過去の本試験で出題されたことのある論点を題材に、正解に至るまでのプロセスや記述方法を解説していきます。事例理論に対する苦手意識を払拭し、第74回本試験に向けて対応力を身につけて、レベルアップを図りましょう！

### おすすめの ポイント

過去の本試験問題を基に、事例問題に対する攻略方法を詳しく解説！

## 阿部講師が語るGW集中ゼミ 「相続税法」の🔍🔍がオススメ！

最近の本試験は、単に個別理論を記述させるだけという問題も出題されますが、主要論点の制度趣旨、規定を設けた理由、各種規定の使い方などを記述させる問題が以前より多く出題されています。

GW集中ゼミでは、過去問題をベースに問題文の読み取り方、考え方や記述方法などを説明し、事例理論に対する対応力向上を図ります。



あべふみお  
収録担当講師 阿部 史生

### 使用教材のポイント

#### 【令和4年度本試験 問1】

次の【設例】に基づき、以下の【問】に答えなさい。

#### 【設例】

父Xは、令和6年8月に死亡し、子A（大学院に在学）は相続により財産を取得した。子Aが、父Xから生前に取得していた財産は次のとおりであり、贈与税の申告、納付が必要なものについては適法に済ませている。

なお、父X及び子Aは、日本国籍を有しており、日本国外に住所を有していたことはない。また、以下の1～4に掲げる贈与以外の贈与については考慮する必要はない。

- 令和2年11月に、父Xから、現金500万円の贈与を受けた。
- 令和3年5月に、父Xから、土地の贈与（贈与時の時価1,000万円、相続開始時の時価2,500万円）を受け、父Xを特定贈与者として、相続時精算課税の適用を受けた。
- 令和4年10月に、父Xから、米国国債（贈与時の時価2,000万円、相続開始時の時価2,100万円）の贈与を受けた。
- 令和5年4月に、父Xを委託者とする信託受益権（1,000万円）を取得し、直系尊属から教育資金の一括贈与を受けた場合の贈与税の非課税（租税特別措置法第70条の2の2）の適用

### 1 ココがポイント！

設例の読み方、解答要求項目の把握をしていきます。

### 2 ココがポイント！

解答要求項目を把握した上で、考え方及び記述方法を解説します。

Webフォロー標準装備!&入会金不要

「事例理論解答作成解説」全1回 コース・科目No. 2499-05

受講料 **¥6,000**

(教材費・消費税10%込)

#### 📍 教室講座

校舎	新宿	広島
クラスNo.	G1	NH
実施日	5/3(金・祝)	5/4(土)
第1回	10:00~12:40	14:00~16:40
講師	阿部	泉原

#### 📺 Web通信講座

クラスNo.	W1
教材発送日	4/22(月)
配信開始日	4/26(金)
講師	阿部

e受付で  
今すぐ申込み

